

# 女性部ニュース

## かがやき

2015年度 NO. 4

青森高教組女性部

2015. 9. 28 発行

TEL 017-734-7287

# 各組織の運動を学び合い、力に！

## ～全教女性部北海道・東北ブロック交流会～

8月22日（土）教育会館において、標記の交流会が開催されました。北海道、福島、宮城、青森から17名、全教女性部から山本事務局長と篠塚副部長が参加しました。青森高教組からは、坂本（三沢商）、船橋（平内高校）、工藤（青一養）の3名が参加しました。

### 情勢の報告と当面の取り組みについて

山本事務局長からお話がありました。以下に当面の主な取り組みを挙げます。

- ・憲法改悪を許さず、憲法を守り、生かす取り組み・平和を守る取り組みをすすめましょう。
- ・「声をかける」「話を聞く」「つながろう」10万人対話運動をすすめ、組合加入をすすめましょう。

No image

No image

- ・セクハラ・パワハラ根絶に向けた取り組みを進めましょう。
- ・子の看護休暇・短期介護休暇の拡充、「家族休暇」を実現する取り組みをすすめましょう。
- ・「全国女性教職員学習交流集会 in 長野」を成功させましょう。

### 各組織の交流

- 権利の状況や女性部活動の様子などの報告がありました。
- ・北海道では、2015年から子の看護休暇が中学校卒業まで拡大され、3人15日まで取得できるようになった。
  - ・宮城高教組では、県教委との交渉を女性部独自で1時間行っている。“グチもみがけば要求になる”という合言葉で、教職員との対話を進め、要求書を作成している。

## 夏休み中の分会訪問で話題になったこと

夏休み中に、障害児学校部の分会訪問に同行し、職場の女性組合員とお話をする機会がありました。職場の状況や女性の権利などについて、いろいろなお話をうかがうことができました。今後の交渉で取り上げていきたいと考えています。

- ★腰の治療のために長期の病気休暇を取った際に、初めの2か月ほど代替が付かなかった。県教委から、臨時講師が見つからないとの説明があったが、安心して治療に専念できるようにしてほしい。
- ★子の看護休暇を中学校卒業まで拡げてほしい。
- ★介護休暇を取りやすくしてほしい。短期介護休暇は、どのようにしたら取得できるのか知りたい。



「全国女性教職員学習交流集会 in 長野」に3名が参加します。  
高松さなえさん（青中央）  
中田真弓さん（弘前聾）  
長尾光佐子さん（県盲）